

合唱班は、先日8月4日に鹿児島県文化センター（宝山ホール）で開催された、第47回全国高等学校総合文化祭（かごしま総文2023）合唱部門に、南信リーダーズコールの一員として参加してきました。

今回、南信リーダーズコールでは、「ねがい」（テキスト構成・曲：信長貴富）「信じる」（詩：谷川俊太郎・曲：松下耕）の2曲を演奏しました。「ねがい」は、旧ユーゴスラビアの戦禍に立たされた11歳の少女によって綴られた言葉を構成した曲で、高校生が詩から感じとった平和への祈りを会場の皆様にお聴きいただきました。「信じる」も平和への願いが込められた曲ですが、コロナ禍でマスクの着用を余儀なくされてきた生徒たちが、舞台上で、詩中にもあるような「笑うとき」「おこるとき」といった高校生らしい素朴な表情が輝いていたことは特に印象的でした。昨今の情勢を踏まえた今、高校生だからこそできる演奏がそこにはあり、指揮者ながら心に染み入るものがありました。長野県の高校生の曲にかけた「思い」と、会場の空気が一体となったあのステージを忘れることはできません。

演奏終了後、会場から惜しめない拍手をいただいたこと、他県の高校生や先生方、近隣にお住まいの方々から、「涙が止まらなかった、とても感動した」などと温かなお声かけを多数頂いたこと、また、閉会式の全体講評で、合唱指揮者の本山秀毅先生から長野県の演奏を具体的に取り上げてご評価を頂いたことは、出演した生徒としても格別の喜びを感じていました。全国の高校生がお互いの演奏を心から尊重し合える温かさを肌で感じ、合唱部門大会の良さを改めて実感させられました。

また、大会中には全国の高校生のバリエーション溢れる演奏からさまざまな刺激を受け、私の想像を上回るかけがえのない経験を、生徒たちそして引率職員一同、長野県に持ち帰ることができました。

大会参加にあたって、ご理解ご協力を頂きました保護者の皆様、現地で運営に携わった鹿児島県実行委員会部門委員の皆様には、心より御礼申し上げます。

（合唱班顧問 木村 宏樹）